

技術名 バックホウをつかった木質チップ吹付け工法(ミノワグリーン工法)	登録 No.
	18D2014

施工内容	
施工年度	平成20年度
発注機関	佐渡地域振興局地域整備部
工事名	主要地方道佐渡縦貫線離島地域連携(県道改築)下川茂拡幅道路改良工事
施工地	佐渡市下川茂
施工数量	植生工 A=4,730m ²

新技術の概要
 現場から発生した樹木(枝葉、幹、伐根材)を粉砕してチップにし、そのチップに添加剤(パーク堆肥、肥料等)を混合し生育基盤材とする。
 これをバックホウにとりつけた撒布機で切土のり面に撒布する工法。
 のり面保護工の工種としては「植生工」である。

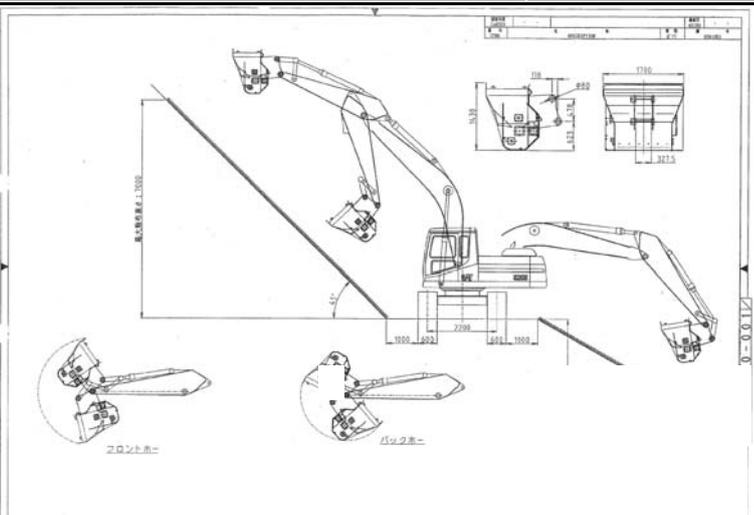
トライアル工事での評価結果

比較した従来技術	植生基材吹付工	
項目	評価	評価内容
経済性	○	従来工法に比べ、約7%のコスト削減となった。
工程	◎	日当たりの作業量が多く、約25%工期短縮となった。
品質出来形	△	バックホウによる吹付のため、出来形管理上、吹付厚さのバラツキがある。
安全性	○	バックホウによる機械吹付作業であるため、作業員の墜落・転落事故の危険性がなくなる。
施工性	○	バックホウによる機械吹付作業であるため、施工の機械化が向上する。
環境	◎	現場で発生した木材を現場で使い切ることができるため、建設廃棄物が大幅に縮減される。
その他		

◎: 優れている ○: やや優れている
 □: 従来技術と比べて同程度
 △: やや劣っている ×: 劣っている

活用上の留意点	吹付厚さにバラツキがあるので、木材発生量が最低厚を十分確保できる量であるか事前把握が必要。
---------	---

新技術問い合わせ先	
会社名	(株)葺和土建
所属部課	
担当者	葺和 勤
TEL	025-599-2557



【粉砕・チップ化】



【材料混合・攪拌】



【バックホウによる撒布】